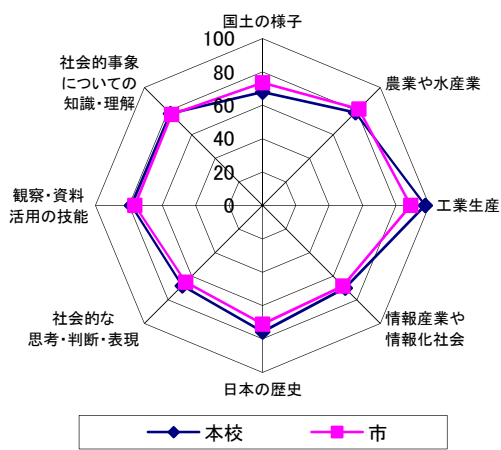


宇都宮市立清原北小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	68.0	73.6	76.2
	農業や水産業	78.8	81.9	77.5
	工業生産	97.5	88.9	83.4
	情報産業や情報化社会	70.0	68.2	61.0
	日本の歴史	75.6	71.1	70.6
観点別	社会的な思考・判断・表現	68.0	65.1	62.1
	観察・資料活用の技能	78.6	76.5	75.2
	社会的事象についての知識・理解	78.0	77.1	76.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	●公害から自分たちの健康や生活を守るためには、どうしたらよいか考える問題の正答率が低かった。 ●日本周辺の海洋や地形についての正答率が他より多少低かった。	・公害について正しい知識を得るために復習する。また、公害をなくすためにどんな取組が行われたか、具体的な活動事例を挙げ、考えていく。 ・生活していく上で必要な知識であるため、復習し、正しく覚えられるようにしていく。
農業や水産業	●日本の牛肉の消費量と生産量のグラフをもとに、牛肉の多くは、輸入されていることを読み取る問題の正答率が市の正答率より低かった。	・グラフを読み取る際に、何を表したグラフなのか、どこに焦点を当てて読み取った方がいいのか、など考えながら見るよう指導する。また、輸出、輸入などの言葉についても復習するとともに日本の食料の多くは、外国からの輸入に頼っていることをグラフや表などで確認させる。
工業生産	○様々な工業製品が国民生活を支えていること、工業生産に従事している人々が環境保全に取り組んでいることなどを理解できている。	・多様な企業や身近な企業の環境保全に関する取組みについても紹介したり、調べさせたりしていく。
情報産業や情報化社会	●情報産業の役割や責任について十分に理解できていない児童もいる。また、生活場面の中で情報ネットワークがどのように活用されているのか、そのよさを実感できていない児童もいる。	・情報産業の役割や責任については、他教科での新聞作りやその他の表現活動の中でも指導、確認していく。また、身近な生活場面から例を示し、情報ネットワークの利便さ、その正しい活用の仕方について必要に応じて指導する。
日本の歴史	○正答率は市の正答率を上回っている。歴史上、有名な出来事、人物については十分に理解できている。 ●聖武天皇に関する複数の資料やキリスト教の伝来、キリスト教禁止政策に関する資料についての読み取りが十分にできず、誤答する児童が多かった。 ●学習後間もない明治時代や大正時代については、学習したことが十分に定着していなかった。	・授業で学んだ知識を資料の読み取り、活用に生かされていないので、資料を読み取る際に、その時代についてふり返り、それから資料を読み取っていくようにする。 ・明治時代や大正時代については、学習したことが定着するよう復習していく。